



議会だより



今年は戌年 ～なんぽろ動物病院～

全員協議会

洪水ハザードマップ改正案を了承

第4回

12月12日～13日

定例会

各会計補正予算を可決

12月定例会は12月12日に開会し、町長一般行政報告に続き6名の議員が9項目について一般質問を行いました。その後、条例制定、各会計補正予算、指定管理者の指定など14件を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し13日に閉会しました。

条例制定等

○南幌町個人情報保護条例
(改正)

行政機関の保有する個人情報
の保護に関する法律の
一部改正のため。

○南幌町議会議員の議員報酬
及び費用弁償等に関する
条例 (改正)

○常勤特別職の職員の給与
等に関する条例 (改正)
期末手当の支給率を変更
するため。

○職員の給与に関する条例
(改正)

人事院勧告による国家公務
員の給与改定のため。

質疑

議員

職員の人事評価の
加算率、拠出区分は昨年度
と変更しているのか。評価
対象となっていない新人職
員の処遇状況は。

総務課長

加算率、拠出区
分は昨年度と変更ありませ
ん。新人職員については、
評価は実施しているが、処
遇の反映はしておらず、拠
出の対象としていません。

平成29年度補正予算

○一般会計補正予算
(第5号)

歳入では歳出補正予算の
各事業に係る国庫支出金並
びに道支出金、南幌工業団
地用地売却収入の追加。
歳出ではマイナンバーカ
ード関連システム改修委託
料、障がい者自立支援給付
事業、障がい児支援給付事
業及び各医療費助成事業に
係る扶助費、保育施設等給
付費の追加。

○一般会計補正予算
(第6号)

歳入では財政調整基金繰
入金金の追加。
歳出では人事院勧告に伴
う給与改定による追加。

○下水道事業特別会計補正
予算(第1号)

歳入では一般会計繰入金
金の追加。
歳出では人事院勧告に伴
う給与改定による追加。

○介護保険特別会計補正
予算(第2号)

主に歳入では介護保険シ
ステム改修に伴う国庫支出
金及び一般会計繰入金金の追加。
歳出では介護保険システ
ム改修費の追加。

○病院事業会計補正予算
(第1号)

職員採用等に伴う給与費
及び患者外の給食材料費の
追加。

○病院事業会計補正予算
(第2号)

歳出では人事院勧告に伴
う給与改定による追加。

その他

○指定管理者の指定

南幌町三重レークハウス
及び三重湖公園の指定期間
の満了に伴い、三重湖公園
管理組合を指定するもの。

意見書



三重湖公園

第4回議会定例会におい
て次の意見書を採択し、各
省庁等へ送付しました。

○平成29年度以降の産地交
付金の満額交付などを求
める意見書



意見書とは

地方公共団体の公益に関
することに關して、議会
の意思を意見としてまと
めた文書のことです。

賛 否 の 公 表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の
態度を公表します。

平成29年第4回議会定例会

平成29年度各会計補正予算、条例案、指定管理者の指定など14議案について、議長を除く
10名全ての議員が賛成しました。

一般質問

問 本町の教育行政をどのように推進していくのか

答 執行方針に基づき着実に実行する

菅原 文子 議員



児童生徒が一定の人間関係のあるものから心理的・物理的な攻撃を受けたことにより精神的な苦痛を感じているもの」としました。本町のいじめ防止、解決に向けて教育行政の果たす役割を責任者としてどのように考えているのか。

菅原議員

教育委員会制度が改正され、教育委員長と教育長を一本化し、町長が議会の同意を得て教育長を任命することとなりました。本町では平成29年10月1日より新制度に移行し、町の教育行政の責任体制が明確化されました。新体制が始まり、教育長として本町の教育行政をどのように推進していくのか。

教育長 平成29年度教育行政執行方針に基づき、各施策を着実に実行することが責務であり、学校教育においては、基礎学力と学習意欲の向上、学習習慣の定着を図るため、公設学習塾の平成30年度開設に向け、具体的な検討を進めます。社会教育では、高齢化社会を迎え健康に対する関心が高くなることから、年齢や体力、技術に応じたスポーツ、レク

問 健康寿命延伸に向けた取り組みは

答 個人に合った健康習慣を導くよう支援

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

高齢になっても介護を必要とせず心身ともに自立した健康な生活を送りたいと、健康寿命を考えたい取り組みを始める方が本町でも多く見受けられるようになり、また健康寿命を延ばす

リエーション活動の充実に向けて取り組みます。

いじめを早期に発見し、長期化・深刻化・複雑化しないよう、学校や関係機関と情報共有し迅速な対応を行います。いじめがあった場合、解決・防止策に向け、いじめの当事者双方とその保護者への対応を真摯に取り組んでいきます。

ためには疾病予防、運動、食事が重要と考え、2点伺います。

①本町の健康ポイント事業は特定健診等やがん検診のみを対象としているが、「健康」と名称がついているのであれば、町の健康・介護予防事業も対象とすべきでは。

②ライフサイクルが多様化する現在、栄養バランスを考えた食生活が健康寿命を延ばす基本と考えます。本町での減塩や糖尿病予防、カロリー制限などの料理講習会やレシピの配布など食と健康のさらなる拡大をどのように進めるのか。

町長

①国保加入者を対象に、個人への報奨で受診への動機づけを行う健康ポイント事業を実施しており、これは国民健康保険制度の事業であるため、ほかの被保険者や介護予防事業を対象とすることは難しいと考えます。

②ライフステージに合った必要な栄養指導を行い、町広報「南幌喰楽部」で町民が本町の食材を使ったレシピの紹介と管理栄養士からのアドバイスを行っています。町民一人一人が健康づくりに関心を持つていただき、個人に合った健康習慣を導き出せるよう支援します。

その他の質問

問 国の給付型奨学金の制度から外れた進学希望者に、本町独自の給付型奨学金の考えは。

町長 貸与型奨学金も活用できることから、本町独自での考えはありません。今後、国の動向を注視していきます。

問

札幌圏に近い特性を生かした
まちづくりのために

答

現在進めている移住定住施策に
全力で取り組む

原田 弘克 議員



原田議員

全国的な少子高齢化、人口減少の中で、今住んでいる人の満足度を上げなければ「南幌に住もう、住み続けたい」という思いにつながらないと思います。みどり野きた住まいるヴィレッジ事業及び子育て世代住宅建築費助成事業に付加価値をつけるため、アンケート調査を実施しました。

変化する町民ニーズを読み、町民に安心感を与え、「ふるさと南幌」の将来像を描き示すことが重要だと思います、3点伺います。

①通勤者の利便性向上のため、夜間の北広島駅・野幌

駅からのシャトルバスなどの運行の考えは。

②民間バスの利用促進と、南幌在住や新規移住される町外通勤者に交通費助成の考えは。

③「子育てのまち」に「通勤しやすいまち」の付加価値をつけて、札幌圏のベッドタウンとして今まで以上に真剣に取り組む考えは。

町長

①平成16年度まで、乗り合いタクシーを運行していましたが、実績を踏まえると現段階では困難です。

②町外通勤者への交通費助成を優先するのではなく、高等学校等通学費補助の推進と移住定住施策や子育て支援策に力を注ぎます。

③現在進めている事業を推進し、民間バス事業者と運行路線の維持確保など十分協議するほか、教育や福祉、生活環境などの分野でも着実に取り組めます。

問

晩翠工業団地内の堆積物について

答

引き続き関係機関と連携を図る

熊木 恵子 議員



熊木議員

本町の入り口である晩翠工業団地内に置かれている堆積物は、町の景観を損なうとして平成28年第2回定例会で質問しましたが、依然として撤去されず増加しており、平成29年6月の議員懇談会での説明で「事業者との協議で9月には処理が完了する予定」とのことでしたが、3点伺います。

①経過説明及び進捗状況。
②この状況をどのように考えているか。
③町の景観を損なう状況の改善は。

町長

①平成29年6月末より廃プラスチックの処理が始まり、

建物内部と敷地入口付近の処理は行われましたが、その後の処理が進まず現在の状況となっています。その間、現地調査を行い事業者への状況確認と要請を行っています。

②平成29年9月ごろまでに処理が完了する見込みとの連絡を受けていましたが、処理が進まない現状には非常に残念だと考えています。

③町は産業廃棄物処理の許可権者ではないので、指導権限が及びませんが、引き続き空知総合振興局と連携を図りながら改善に取り組んでいきます。

その他の質問

問 空き店舗活用支援事業について、取り組み状況、意見や要望、事業内容の見直しは。

町長

平成29年11月にハンドメイド製品の販売とカフェを併設した店舗が開業しました。相談件数は6件

で要望や意見はありません。開始1年目であり、現行制度の周知に取り組んでいます。

その他の質問

問 みどり野きた住まいるヴィレッジのPRについて、ポスターや看板の設置、15線道路沿いの空き地に草花の植樹、高規格道路や遊水地の完成予想図、時期を表示する工夫は。

町長

住宅展示場への案内看板は北海道、住宅供給公社と協議の上、必要とされる箇所に設置を予定し、15線道路沿いの草花の植樹は町有地がないことから実施は困難であり、高規格道路は完成年度が公表されていないことから看板設置は困難です。遊水地は31年度完成予定であり、町での設置は考えていませんが、国では4市2町の遊水地デザイン看板の設置が検討されています。

問 南幌高校存続への考えは

答 継続して支援に取り組む

志賀浦 学議員



③来年度、小・中学生を対象に公設塾を開設予定ですが、南幌高校生も対象とする考えは。

町長

指針の素案に現在の南幌高校の現状を照らし合わせると、大変厳しい内容であると捉えています。

志賀浦議員
北海道教育庁並びに空知教育局より、「これからの高校づくりに関する指針（素案）」の説明会がありました。全国的に少子化が進み人口減少が見られる中、南幌高校も、近年定員割れが続いており、南幌高校支援施策の効果がでないように思われます。

「子育てのまち南幌」のためには、小・中・高校の教育環境の充実が必要と考え、3点伺います。

①南幌高校の存続をどのような施策で支えていくのか。
②南幌高校振興協議会を活用した取り組みの継続と情報発信の考えは。

①南幌高校の支援については、歴代の学校長、教職員が魅力ある高校づくりを議論し、それをもとに進学入学金補助、資格取得補助の拡大、南幌中学校からの入学者への入学祝い金補助、通学費補助等を行い、「子育てのまち」としての支援に取り組んでいます。

また、経済的な支援だけでなく、町広報を通じた情報発信や学校祭での大学との連携や共同募金など地域との連携を広げていきたいとの要望もあることから、これらの活動の支援も行っていく予定です。
まちづくりを進めていく

上で、南幌高校の存続はきわめて重要であり、継続して支援に取り組んでいきます。
②高校の振興協議会を中心に、さまざまな意見をいただき、支援策を拡充できるか検討したいと考えます。
③高校生対象の公設塾については、難しい分野もあり、江別市の4大学との連携の中で、できる機会があれば検討する余地があると思います。

石川 康弘 議員



石川議員

町内には廃品回収業者が何社かあり、主に資源ごみ回収を行っています。

しかし、その収集物が敷地内だけにとどまらず、道

問 道路まで及び廃品堆積の指導は

答 周辺環境に配慮するよう指導します

路用地にまで及んでいる業者があり、地域住民や関係者から、通行や除雪の妨げ、悪臭の心配などの苦情の声が聴かれます。

このような状況のままで既に何年も経過しています。が、行政として指導や勧告などは行ってきたのか。道路用地へのはみ出しは、道路占用許可が必要であり、無許可ならば法律違反ではないかと思うのですが、町はどのように対処してきたのか。

また、本町の景観を損ねることを防ぐために、景観条例を制定する考えは。

町長

道路占用は、法律で電柱や電話柱及び水道などの工作物、物件または施設を設け、継続して使用する場合と定められており、指摘のような廃品回収物については、道路占用許可を受けることはできないため、道路

に物件を堆積することは道路の構造または交通に支障を及ぼすおそれのある行為として禁止されています。

町ではこれまでも南幌駐在所と連携を図り、道路に物件がはみ出していると思われる場合は、交通事故の発生や除雪作業等に支障とならないよう、その都度現地へ行き、早急な移動と合わせて周辺環境に配慮するよう指導をしています。

今後このようなケースがふえることがないよう町内の巡視を強化し、南幌駐在所と連携して事業者に対し、関係法令に基づき指導を行っていきます。

景観条例は、今の法律を守っていただければ十分であり、制定の考えはありません。

南幌町議会 議会報告懇談会



町民に身近な議会を目指して

○平成29年11月18日(土) 18時〜20時

レポート

日頃の議会活動やまちづくりへの取り組みなどについて、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告懇談会を開催しました。
今回は、新たな取り組みとして、ワークショップ形式で行い、皆さんの御意見をいただきましたが、誌面の都合上、一部抜粋してお知らせします。

生活

○巡回バスについて

住民 高齢になつて免許返納後、交通の不便さを実感する。

議員 市街地の需要調査、デマンド等の交通手段の調査をします。

○きらら街道について

住民 自転車道路と歩道を設置してほしい。

議員 何度も取り上げられていますが、財政的に厳しい状況です。

その他

住民 道の駅について、小さな町でも道の駅があり賑わっている。期成会(委員会)等をつくって取り組んではどうか。

議員 実現に向けて継続調査していきます。

住民 町のすばらしい景観をPRして、町のよさを発信してほしい。

議員 議会でも話し合われています。

住民 北広島市がフットボール場誘致に頑張っている。隣の町でも援護協力してはどうか。本町に波及効果が生まれ、活性化につながるのではないか。

議員 町に対して要望しました。今後についても状況を見ながら検討します。

意見・要望

○南幌高校について

住民 南幌高校を残すために力を尽くしてほしい。

○町立病院について

住民 会計で時間がかかるので、何とか改善してほしい。

○まちづくりについて

住民 イベントやお祭りに子供が多く集まるので、元気なまちづくりをしてもらいたい。

○遊水地について

住民 活用計画に住民の意見を反映する場を設けてほしい。

全員協議会

8月29日

- 教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
- 広域連携の取り組みについて
- ふるさと納税の状況について

10月6日

- 平成30年4月からの新国保制度の概要について

12月13日

- 全国学力・学習状況調査結果について
- 洪水ハザードマップ等の改正について
- 中期財政推計について

委員会活動

(10月～12月までの開催分)

総務常任委員会

11月30日

- 南幌高校支援について

議会運営委員会

12月5日

- 定例会の運営について

まち活性化特別委員会

10月6日

- 議会報告懇談会について
- 各委員会報告について

12月20日

- 議会報告懇談会のまとめについて

議会報告懇談会を開催します

町議会では、日頃の議会活動を報告し、町民の皆さんと懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくため、議会報告懇談会を開催します。

- ・2月24日(土) 鶴城寿の家 午後6時から
- ・2月25日(日) ビューロー 午後6時から

議会報告懇談会を

ご利用ください

目的

議員が地域の皆様と懇談することにより、議会活動への理解を深めていただくことと、議会の機能強化を目的としています。

実施内容

- 町内の5名以上の小グループや各種団体を対象として実施します。
- 地域における諸課題や議会活動・町政に対する意見等を議員が直接伺います。
- 開催に当たりテーマを決め、そのテーマに沿って懇談を進めます。
- 出席議員は開催内容に応じ議長が判断します。

その他

- 通年開催しています。
- 開催場所・時間については、各地域の集会所または公共施設等で開催します。懇談時間は2時間以内とします。
- 申込等については、議会事務局へお問い合わせください。

議員会議出席状況(平成29年1月～12月)

	定例会・臨時会						委員会	開催内訳					
								総務	8	決算審査	3		
								産業経済	5	まち活性化特別	9		
								議会運営	6	全員協議会	7		
								広報特別	9	総合計画審査特別	1		
								予算審査	3				
								出席内容					
	開催日数	出席日数計	欠席	出席内容		開催日数	出席日数計	欠席内容		出席内容			
				遅刻	早退			公用	その他	遅刻	早退	その他	
本間 秀正	11	11				31	30		1				
川幡 宗宏	11	11				25	22		3				
原田 弘克	11	11				40	40						
志賀浦 学	11	11				37	37						
内田 恵子	11	11				37	36		1				
西股 裕司	11	11				37	37						
佐藤 妙子	11	11				43	39		4				
菅原 文子	11	11				37	37						
石川 康弘	11	11				34	34						
熊木 恵子	11	11				37	36		1				
側瀬 敏彦	11	11				7	7						

※委員会については、議員の所属する委員会がそれぞれ違うことから開催日数が異なります。
※同日に複数の委員会開催の場合、出欠内容ともにそれぞれ1日としています。

視察対応状況

南幌町の取り組みが注目されています

平成29年は、全国の7議会から南幌町の先進的な取り組みについて視察依頼があり、議会、理事者、担当職員で対応していますので概要をお知らせします。このことは、本町の各施策が注目されているあらわれであり、今後とも積極的に視察を受け入れ情報発信を行っていきます。

議会名	日時	視察内容	来町人数	議会対応者	町対応者
宮城県松島町	6月26日	様々な施設や事業での子育て支援（子育てガイドブック）について	議員6名 職員2名	議長 総務常任委員長	町長 教育委員会 保健福祉課
八雲町	7月25日	稲わらペレットを利用したペレットボイラーについて	議員5名 職員1名	(他公務のため欠席)	まちづくり課
新潟県燕市	10月3日	稲わらペレットを利用した地域循環システムの構築について	議員8名	議長 産業経済常任委員長	町長 まちづくり課
福島県西郷村	10月4日	パークゴルフ場の概要について	議員15名 職員7名	議長 産業経済常任委員長	町長 都市整備課
幕別町	10月13日	町民プールの概要について	議員5名 職員2名	議長・副議長 総務常任委員長 総務常任副委員長	町長 教育委員会
佐賀県上峰町	10月25日	まちづくりの施策（子育て・定住促進対策）について	議員5名 職員1名	議長 総務常任委員長 産業経済常任委員長	町長 まちづくり課 保健福祉課
大分県玖珠町	11月14日	子育て事業の取り組みについて 稲わらペレットを利用した地域循環システム構築の取り組みについて	議員5名 職員1名	議長 総務常任委員長 産業経済常任委員長	町長 まちづくり課 保健福祉課

私のまち・ひと・しごと

議会だより表紙の方を紹介します。

なんぼろ動物病院 院長 魚住 大介さん



動物病院を開業して13年になる先生は兵庫県生まれ。開業のきっかけは、大学時代に家庭教師で南幌を知り、ゆったりとした雰囲気と自然に恵まれた環境をととても気に入り、動物にとってもストレスが少なく、身近な場所に病院があると皆さんが助かるのでは、と考えたそうです。これからの時代は動物とのかかわり方も変化し、予防や衛生管理などが動物にとっても重要になります。そのために気軽な相談窓口として地域とかがわっていく必要があると思います。

魚住先生は、「人や動物も高齢化していくと、ふれあいやぬくもりが生きる原動力にもなることから、それを手助けできるまちの動物病院として貢献していきたい」と語っていました。

さわやかで優しい先生のそばには愛情いっぱいのワンちゃんたちが治療の順番を待っていました。

議会広報委員 佐藤 妙子

編集後記

▼平成30年がスタートして早1カ月が経過しました▼今年は戌の戌（ツチノエのイヌ）の年▼戌は「植物の成長が絶頂期にある」と意味され、戌は「万物の繁殖が済み、勢いを収めるとき」とあります▼成長が絶頂期の戌と勢いを収める戌▼物事が両極端になる年になりそうです▼そのような年にあつて、平成30年のヒット商品・サービス予想のキーワードは「ひとり助け」を支える商品やサービスがランクイン▼1位格安スマホ、2位高齢者ドライバの事故対策や宅配ボックスが選ばれました▼なんとなく侘しく思えます▼2月に入り、春が待ち遠しく感じる毎日です▼皆様お元気でご活躍されることをご祈念申し上げます▼

N・H